

# 紹介 あつぎパートナーセンター施設紹介

あつぎパートナーセンターは、男女のあらゆる分野への社会参画を促進し、男女共同参画社会の実現を図るための施設です。

多く活動されているのは手工芸、ダンス、楽器練習など趣味のサークルの方々ですが、男女共同参画社会を実現するため、パートナーセンターが支援していこうと考えている活動があります。

## 1 男女平等に関する調査研究支援

男女間の格差についての勉強会。女性史の研究編集作業やメディアリテラシー（メディアが発信する情報を正しく読み解く力をつける）の研究会。DV問題やセクハラ防止対策検討など。

## 2 性別役割分担意識を解消する活動

男性は仕事、女性は家事、という性別役割分担意識を解消する活動として、男性の家事参加を促す男性の料理教室や、男性の育児・介護に関する勉強会など。

## 3 女性の地域社会参加の促進

女性のエンパワーメントを進める女性起業家を養成する会や地域活動の場で女性リーダーとして活動するためのスキルアップ。育休取得後の職場復帰を支援する活動など。

趣味の活動はもちろんですが、上記のような、男女共同参画に関連する活動や勉強会などに、ぜひ、パートナーセンターをご利用ください。



## 活動団体のご紹介



### さがみ女性史研究会「さねさし」

さがみ女性史研究会「さねさし」は1999年4月7日発足以来、今年で10年になります。会員は9人、地域の女性史について学ぶ会です。2004年4月、聞き書き集「あつぎの女性20人」を出版しました。

現在は厚木の自由民権家子孫（女性）からの聞き取りと、女性史年表作成に取り組んでいます。今年の5月末出版予定で、目下ねじり鉢巻で毎週金曜日、主にパートナーセンターで資料と格闘しながら本作りに励んでいます。

### 「メディア・リテラシー21」

2002年2月、男女共同参画課（当時の女性政策課）主催の「メディア・リテラシー講座」に参加、「情報解読力」の大切さを学び、それを契機に参加者有志でグループを立ち上げました。以来6年余、毎月例会を開き意見交換をしています。

あらゆる情報は、新聞社・テレビ局というフィルターを通しての報道であること、限定された紙面、放送時間から溢れて消えていった情報はないだろうか、など、議論は尽きることはありません。

## 6/23～6/29は男女共同参画週間です

期間中、男女共同参画推進セミナーとして6/28（日）広岡守穂先生の講演会を予定しております。詳細は後日、市広報等でお知らせいたします。どうぞお楽しみに♪  
広岡先生の講演は笑いあり、涙ありの楽しいお話で、とても人気の高い講師です。



プロフィール

1951年生まれ。  
中央大学法学部教授。  
内閣府男女共同参画課会議委員、神奈川県男女共同参画審議会委員など公職を歴任。  
著書「男だって子育て」ほか多数。

## 編集後記



▲箱根駅伝を力走する梶原さん

箱根駅伝を走っていた厳しい表情が別人かと思うほど、取材中ずっとさわやかな笑顔の梶原さんでした。監督からも「こちらで止めないとずっと走り続けてしまう」と言われるほど走ることが大好きだそうです。

今回の駅伝も楽しく走れたと笑顔で話してくれました。これからも、厚木市の顔として箱根駅伝をはじめ多くの大会での活躍を期待しています。  
(睦合北地区 剣持)

平成21年3月発行  
編集 八あも二い編集委員  
発行 厚木市市民協働部男女共同参画課  
厚木市中町1-4-3  
あつぎパートナーセンター内  
電話 (046) 225-2500 (直通)  
FAX (046) 223-8432  
e-mail 1150@city.atsugi.kanagawa.jp

あつぎパートナーセンターだより「八あも二い」は、再生紙を利用しています。

あつぎパートナーセンターだより No.128

私たちがめざす男女共同参画社会とは、「すべての人が尊重され、多様な生き方を選択することが可能で、家庭、地域、職場などにおいて個人の能力を十分に発揮することができる社会」です。

# ハあも二い

## 松蔭大学1年生 梶原 有高さん

今年の「箱根駅伝」で市内の松蔭大学の梶原有高さんが、「関東学連選抜チーム」の一員として復路7区を走りました。

「関東学連選抜チーム」とは、予選会で勝ち上がれなかったチームに所属する選手から、予選会のタイムを参考として補欠を含む16人を選出して組織したものです。

いつの日か松蔭大学のゼッケンをつけ箱根路を走る日を夢見て、グラウンドや荻野運動公園、森の里の周辺で毎日練習をしています。

## 梶原さんに質問

- Q1：箱根駅伝の出走が決まった瞬間、感じたことは。  
A1：大舞台だけど、気楽に走ろう。  
Q2：（駅伝を）走っている時、何を考えていましたか。  
A2：絶対、中大と日大を抜く。  
Q3：学生生活の目標は。  
A3：関東インカレ3位以内。箱根駅伝のエース区間を快走。  
Q4：将来の夢はなんですか。  
A4：マラソンで世界へ。  
Q5：最後に一言！  
A5：これからもインカレ、箱根駅伝で頑張りますので応援をお願いします。

## 今号のハあも二いは

- ・「好き」ってどういうことだろう？  
～あなたとだれかのあいだ～
- ・パートナーセンター施設紹介



# 「好き」ってどういうことだろう？

～あなたとだれかのあいだ～

あの人を見るとドキドキする。もっと近くにいたい、明日はもっとたくさん話してみたい。そう思うのは、あの人が好きだから？

誰かを好きになると、毎日がとても楽しいよね。

「今日はいえるかな？」その人の後ろ姿を見ただけでも一日幸せな気持ちで過ごせたり、周りの人にも優しくなることが出来たり、「好き」って気持ちで今までと違う自分になれるような気がするね。

憧れの人と付き合えたら・・・もう夢みたい!! 幸せで心が一杯になって、これからずーっと、ふたりで仲良く一緒に居たいって心から思うんじゃないかな。



## 嫌なことは嫌、それは大事なことです。

誰かを好きになったり、夢がかなって付き合えるようになると、その人の言葉や態度が気になってしまう。

いま、あの人は何してるのかな？どこに居るのかな？好きな人を独り占めしたくなる。

または嫌われたくないから、その人の望むことを何でもしてあげたくなる。

でも、それっておかしくないかな？

自分の気持ちを押し付けたり、逆に自分の気持ちを我慢してばかりでは、好きな気持ちもしぼんでしまうよ。

例えば、好きな人に嫌なことを言われたりされたりし

たらどうしよう？

悲しんだり、あきらめたりしないで、「私はそれは嫌なの。だから、やめて」と勇気を出して自分の気持ちを伝えよう。

もし、どんなにお願いしても説明しても、自分の気持ちを分かってもらえなかったら？

その人からちょっと離れて考えてみよう。距離をおくのは、「自己中」なことでも裏切りでもない。一番大切なのは自分の気持ち。「嫌」という気持ちは我慢しないでいいんだよ。

## 2007年「若い世代における『恋人からの暴力』に関する調査」から・・・

2007年9月内閣府発表 (対象) 16～29歳の男女 (有効回答) 358人

この調査によると、現在または過去に恋人がいたと回答した258人のうち、男女とも約半数が交際相手から身体的・精神的暴力を受けたことがあると答えているそうです。

(単位：%)

恋人からの被害経験 (恋人からされた行為)	全体 (258人)	女性 (130人)	男性 (128人)
急に機嫌が悪くなったり、優しくなったりして、いつも気をつかわされる	33.7	25.4	42.2
行動を制限される	21.7	24.6	18.8
バカ、アホ、頭悪いなどの言葉で嫌な思いをさせられる	13.2	15.4	10.9
貸したお金を返してもらえない	6.2	10.0	2.3
友達や家族に連絡を取ることを嫌がられる	5.4	6.9	3.9
思うとおりにしないと「〇〇する」と言って脅される	4.3	4.6	3.9

## 男の気持ち女の気持ち

「男なんだから、強くて賢くて、女をリードしなきゃいけない。」

「女なんだから、可愛く控え目で、男についていかなきゃいけない。」

これに似た気持ちって、心のどこかにないかな。でも、ちょっと考えてみたら、こういうのって少し変じゃない？

活発で、しっかりしている女子がいるように、控え目で大人しい男子もたくさんいる。男子がすべて女子より成績が良いということもない。

なのに、彼-彼女の間柄になると、なぜか男らしさ、女らしさを気にしてしまったりする。

「男らしくないと(女らしくないと)嫌われちゃうかな？」って思うかもしれないけど、どちらかがどちらかをひっぱってゆく、どちらかがどちらかに従うという関係は、暴力に繋がったりもする、とても危ないもの。

「支配する⇔従う」のが当たり前だと思っていると、支配するために暴力を振るってもいいということになってしまうから。

でも、そんな関係が当たり前のはずはないし、そんな「愛」じゃないよね。



## もし、困ったことや悩んでいることがあったら...

○あつぎパートナーセンター女性のための相談室

TEL 046-221-0123

月曜・火曜・金曜・土曜

10:00～12:00及び13:00～17:00

木曜

10:00～12:00及び13:00～19:00

いずれも祝日及び年末年始は休み

女性の相談員がお話を聞きます。

電話でも相談室での面接も行っています。

○厚木市DV相談窓口

TEL 046-225-2244

月曜～金曜 (祝日、年末年始は休み)

8:30～17:15

※その他、県内の相談所

受付時間は、各施設にお問い合わせください。

○県立かながわ女性センター 0466-27-9799

○県立女性相談所 045-313-0745

## あなたには権利がある

- ・自分のことは自分で決めていい
- ・自分の気持ちは口に出して言ってもいい
- ・自分の考えをしっかり持っていていい
- ・気持ちが変わったっていい



大切なのは、相手を自分とは違う人として尊重すること。そして、あなたにも、ひとりの人間として尊重される権利があること。

相手や自分の人格を大切にすることができれば、大好きで大事なあの人と、すてきな関係をつくることができるよ。

## コラム

## 次世代のエネルギー資源「太陽」は男？女？

日々衰えを感じる記憶力の維持のため語学の勉強を始めた。そこで、ややこしい問題に直面、いささか困惑している。なんと名詞に性別があるのだ。

例えばドイツ語の「太陽 (SONNE)」は女性名詞なのにフランス語の「太陽 (SOLEIL)」は男性名詞なのである。ドイツの「太陽」は国境を越えて一歩フランスに入ると女性から男性になるわけだ。

では「月」はどうかと調べると、ドイツ語の「月 (MOND)」は男性名詞だが、フランス語の「月 (LUNE)」は女性名詞なのだ。太陽の場合と逆である。

その点、日本語の名詞は男女の区別など無い。おかげで国語の授業は少し楽だったかもしれない。

(荻野地区 岩本)